SAMPLE

RIM INTELLIGENCE CO.
フェアな価格　確かな信頼

ポリオレフィン
Polyolefins

お申し込み ＞

試読 ＞

☆RIM POLYOLEFINS INTELLIGENCE DAILY
★No.3639 Aug 24 2022
Copyright(C) 2022 Rim Intelligence Co. All rights reserved.
—TOKYO, 18:30 JST Aug 24 2022<Assessment Closing Time>
「リム価格」は登録商標です　登録番号・第5387777号

◎お知らせ

○「第7回立ち寄りセミナー　～初秋編～」のお知らせ

リム情報開発はこのたび、季刊誌「エネルギー通信13号」の発行に合わせ、オンラインセミナーをオンデマンドで開催いたします。脱炭素化への取り組みを中心に、エネルギーの最新動向をお伝えいたします。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

◆テーマ：コロナ禍、ロシア侵攻のさなかで、エネルギーは

◆日時：9月13日(火)～15日(木) 10時～21時 オンデマンド配信第1弾
9月20日(火)～21日(水) 10時～21時 オンデマンド配信第2弾
9月27日(火) 10時～21時 オンデマンド配信第3弾
※いずれの日時も同じ内容で配信します。

◆配信形式：お申し込みいただいた方には、9月12日(月)までに動画視聴URLと視聴方法をメールにてご連絡します。配信時間中はご自由にご視聴いただけます。

◆参加費：5,500円/名(税込み、資料費込み)
※オンデマンドでご視聴されない方で資料をご希望の方は、DVDと併せて5,500円でご提供します。請求書に掲載の所定口座へ、9月9日(金)までにお振り込みください。資料を申し込んだ方には、お支払い確認後、事前にメールにてお送りいたします。参加者には、リムが発行する季刊誌「エネルギー通信」(定価5,500円、税込み)の8月20日号を無料で進呈します。

◆お申し込み：下記のリンクより9月7日(水)までにお申し込みください。
URL: https://www.rim-intelligence.co.jp/info/cat03/2022/1722945.html

【問合せ】営業研修班　電話: 03-3552-2411　E-Mail: info@rim-intelligence.co.jp

◎リムエネルギー総合指数22種(レックス22、2010年平均＝100)

24日のレックス22は、前日から3.02ポイント上昇し191.73です

リムレポートのご紹介

リム情報開発のレポートラインアップは、下記のURLからアクセスください。各レポートのサンプルに加え、内容についての詳細な説明がご覧いただけます。
https://www.rim-intelligence.co.jp/report/

原油・コンデンセート	アジア石油製品	バンカーオイル
ローリーラック(国内陸上)	ジャパン石油製品(国内海上)	LPG　LNG
石油化学	ポリオレフィン	電力
バイオマス(週刊)	デイリーデータ	Rim Data File
クリーンエネルギー(週刊)	CROSS VIEW軽油/重油	エネルギー通信

上記に関するお問い合わせは、TEL 03-3552-2411　E-mail info@rim-intelligence.co.jp

Rim INTELLIGENCE Polyolefins
3F Yaesudori Hata Bldg, 1 Chome 9-8 Hatchobori, Chuo-ku, Tokyo Japan
Tel:81-3-3552-2411 Fax:81-3-3552-2415 e-mail:info@rim-intelligence.co.jp

◎Olefins($/MT)			
	CFR N.E. Asia	CFR S.E. Asia	FOB Korea
Ethylene	770/ 790	840/890	760/ 780
Propylene	840/ 860	810/830	820/ 840
Butadiene	950/1,000	850/900	950/1,000

◎China Domestic(Yuan/MT)	
	East China
Propylene	7,000/ 7,100
Propylene (Shandong)*	6,750/ 6,850
Butadiene	7,800/ 8,000
SBR	11,650/11,750
BR	12,000/12,200
*Shandong prices refer to ex-tank assessments in the Shandong area.	

◎Polymers ($/MT)				
	CFR China	CFR S.E. Asia	China Domestic*	USD^
LDPE(Film)	1,100/1,120	1,180/1,200	9,750/9,800	1,188 +
LLDPE(Film)	950/ 980	990/1,040	7,850/7,900	957 +
HDPE(Film)	960/ 990	970/1,000	8,550/8,600	1,042 +
HDPE(Yarn)	960/ 990	990/1,020	8,550/8,600	1,042 +
PP(Homo) - BOPP	940/ 960	1,010/1,030	—	—
PP(Homo) - Yarn/INJ	930/ 950	980/1,000	7,800/7,900	954 +
PP(Block Co) - INJ	950/ 970	1,010/1,030	—	—
*Yuan/MT, ^USD calculated from China Domestic.				

◎PVC and Feedstocks ($/MT)	
	CFR China
PVC	880/890
Ethylene Dichloride	390/400
Vinylchloride Monomer	670/700

◎Weekly & Monthly Average**				
	15.Aug - 19.Aug	Jul Ave.	15.Aug - 19.Aug	Jul Ave.
Ethylene	780/ 800	879/ 918	842/868	939/ 978
Propylene	882/ 906	892/ 925	852/876	883/ 916
Butadiene	950/1,000	1,255/1,305	850/900	1,155/1,205

	FOB Korea	
Ethylene	770/ 790	849/ 888
Propylene	866/ 898	892/ 925
Butadiene	950/1,000	1,255/1,305

	China Domestic*	
Propylene	7,060/ 7,130	7,305/ 7,358
Propylene (Shandong)	6,990/ 7,070	7,353/ 7,433
Butadiene	7,920/ 8,240	9,995/10,155
SBR	11,600/11,700	12,230/12,350
BR	12,300/12,500	13,720/13,920

	CFR China		CFR S.E. Asia	
	15.Aug - 19.Aug	Jul Ave.	15.Aug - 19.Aug	Jul Ave.
LDPE(Film)	1,112/1,140	1,301/1,322	1,260/1,280	1,457/1,477

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

LLDPE(Film)	954/ 976	1,041/1,072	1,020/1,050	1,176/1,205
HDPE(Film)	970/ 990	1,045/1,071	994/1,032	1,133/1,158
HDPE(Yarn)	970/ 990	1,045/1,071	1,014/1,052	1,153/1,178
PP(Homo) - BOPP	960/ 980	1,029/1,054	994/1,014	1,127/1,147
PP(Homo) - Yarn/INJ	950/ 970	1,019/1,044	964/ 984	1,097/1,117
PP(Block Co) - INJ	970/ 990	1,039/1,064	994/1,014	1,127/1,147

	China Domestic*	
LDPE(Film)	9,880/9,940	10,480/10,568
LLDPE(Film)	8,010/8,060	8,310/ 8,388
HDPE(Film)	8,600/8,680	8,958/ 9,028
HDPE(Yarn)	8,600/8,680	8,958/ 9,028
PP(Homo) - Yarn/INJ	7,850/7,920	8,105/ 8,205

	CFR China	
PVC	880/ 890	983/ 993
Ethylene Dichloride	406/ 420	521/ 551
Vinylchloride Monomer	670/ 700	893/ 923

◎Spread/Olefins($/MT)**

	Ethylene	Propylene	Butadiene	Naphtha
Ethylene	—	-70	-195	84 -
Propylene	70	—	-125	154 -
Butadiene	195	125	—	279 -
Naphtha	-84 +	-154 +	-279 +	—

Calculated from the price difference between each product and CFR Japan Naphtha.

◎Spread/Polyolefins & Intermediate VS Feedstocks ($/MT)**

LDPE(Film)	314	PP/Homo(BOPP)	100	SM	143 +	EDC	169
LLDPE(Film)	224	PP/Homo(Yarn/INJ)	90	Phenol	-3 +	VCM	45
HDPE(Film)	164	PP/Block Co(INJ)	68	PTA	94 -	PVC	193
				MEG	27		

Calculated from the price difference between each product and its feedstock.

**These are reference prices and not price assessments.

◎オレフィン
○エチレン

アジアのエチレン相場は北東アジア着が770～790ドル、東南アジア着が840～890ドル、韓国積みが760～780ドルといずれも前日から変わらず。

北東アジア市場では9月後半中国着が780ドルで成約された。供給面では引き続き中東品に売り物があり、上値の重い展開となっているようだ。また、中国需要家からは以前に比べると売り物は減少しているが、相場が底を打ったかどうかは不透明な情勢といった指摘も聞かれた。市場関係者は誘導品の採算や需要が悪化した状況が続いているため、エチレン相場が上昇できるかどうかは誘導品メーカーが買付けに動いた際に、エチレン相場の上昇を誘導品価格に転嫁していけるかがカギになりそうだと指摘した。

韓国積みの商談に動きはみられず。LG化学がヨウスのエチレン設備の定修開始時期を前倒しし9月20日ごろとしたのは既報のとおり。これ以外のメーカーも定修を前倒す検討をしていると伝えられていたが、大韓油化（KPIC）が9月16日、YNCCが10月1日とそれぞれ当初の見込みどおりに定修を開始するとの情報が市場関係者から寄せられた。ただ、韓国の石化メーカーは各社ともエチレンを

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

大幅に減産しており、これら3社が定修を控えていることから、供給の余剰感は後退しているようだ。

○プロピレン

アジアのプロピレン相場は北東アジア着が840～860ドル、東南アジア着が810～830ドル、韓国積みが820～840ドルといずれも前日比横ばい。

北東アジア着の市場では、売り物が見られるものの需要家の買い気が弱く商談の進展が見られない。

韓国ではナフサクラッカーの稼働率が総じて75～80%と聞かれる。しかし誘導品設備の稼働率も低下しており、プロピレンの供給にタイト感は見られない。

東南アジア市場では、一部石化メーカーに販売余力があるようだが、現時点でファームな商談は見られない。

中国国内では、三江石化のメタノール法オレフィン設備が16日から稼働を停止したとの情報が聞かれる。期間は10～15日という。一方、寧波金発のプロパン脱水素設備の定修明けが延期されたとの情報が聞かれる。具体的な日時は不明。

○ブタジエン

アジアのブタジエン相場は北東アジア着と韓国積みが950～1,000ドル、東南アジア着が850～900ドルといずれも前日比横ばい。

北東アジア着の取引は様子見ムードが強い。9月品の商談が一巡、10月着は時期尚早感から売買双方とも取引を急いでいない。韓国、中国ともに誘導品設備が需要不振を背景に減産しており、供給潤沢感がある。加えて東南アジアではPRefChemのブタジエン設備が再開したことに加え、フィリピンのJGサミットのブタジエン設備も近く再開する予定。こうした状況下、アジアのブタジエンは供給潤沢感がある。

韓国ではLG化学が9月以降に定修入りする予定となっており、スポット需要がある。しかし9月までの必要玉は買い終えており、10月着もある程度調達したもよう。

東南アジア市場では石化メーカーに販売余力があるが、現時点で売りに動いているとの情報は聞かれない。

中国国内では、茂名石化のナフサクラッカーが再開したほか、上海石化のナフサクラッカーも近く再開する予定。こうした状況下、先行き中国の供給が増える見通し。

◎ポリオレフィン

中国着のポリオレフィン相場は前日から変わらず。中国着の商談で新規のオファーは確認されず。FOBベースの商談も動きはみられない。トレーダーは需要家に買い気がないため商談がないと伝えている。

東南アジア着のポリオレフィン相場は低密度ポリエチレン(LDPE) Filmが1,180～1,200ドル、直鎖状低密度ポリエチレン(LLDPE) Filmが990～1,040ドル、高密度ポリエチレン(HDPE) Filmが970～1,000ドル、ポリプロピレン(PP) Homo Yarn/Injection(Inj)が980～1,000ドル、PP Block Coが1,010～1,030ドルといずれも前日から変わらず。ベトナム着の商談ではLLDPE Filmでマレーシアの Pengerang Refining and Petrochemical (PRefChem)のカーゴが930ドルでオファーされたとの情報が寄せられた。昨報のとおり、同社のLLDPE設備は長期停止から再開し9月にもオンスペック品の生産開始が見込まれている。市場関係者は再開直後のため割安な価格でオファーされていると指摘したうえで、供給の潤沢感が強まり相場がさらに押し下げられる可能性があるとの見方を寄せた。インドネシア着の商談ではマレーシアメーカーがオファーを提示している。価格はいずれも非関税でLDPE Filmが1,500ドル、HDPE Filmが1,200ドル、PP Homo Yarn/Injが1,180ドル、PP Block Coが1,210ドル。

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

◎日本市場

○オレフィン

日本のオレフィン市場では、誘導品の需要の弱さや原料であるナフサのコスト高を背景に、引き続き多くの石化メーカーがナフサクラッカーで減産を行っている。プロピレン関連では、アクリロニトリル(AN)などの誘導品の需要が弱く、誘導品設備の稼働が引き下げられている。自動車産業からの需要の弱さなどが背景にあるようだ。このほか、石化メーカー2社のポリプロピレン(PP)設備でトラブルが発生したとの情報が伝えられた。これに伴い、原料であるプロピレンを石化メーカーが販売するといった動きは現時点ではみられていない。

2022年 オレフィン関連設備の定修および稼働開始予定							
国名	原料/設備	メーカー名	系列	能力	開始時期	完了時期/期間	理由
日本	Nap	出光興産		690	8月29日	10月26日	定修
生産能力:Nap、エタンはエチレン、PDH、FCC/RFCC、MTPはプロピレンを表す。単位:千トン/年 リム調べ							

日本の製油所定修予定					
精製会社	地域	能力	開始時期	完了時期/期間	理由
鹿島アロマ	鹿島	35.1	2021年7月		生産調整

能力は1,000バレル/日 リム調べ

○ポリオレフィン

日本着のポリオレフィン取引では高密度ポリエチレン(HDPE) Filmで東南アジア産の9月積みが、おおよそ1,310～1,370ドルのレンジでオファーされた。荷揚げする港やカーゴの数量により価格は異なる。オファーされた数量の多くはすでに成約に至っているもようだ。8月積みとして商談されていたカーゴに比べ、成約価格は160～170ドルほど下落した。引き続きエチレン、ポリエチレンともに国際市況が下げ基調となっている。また、依然として外国為替市場でドル高円安水準で推移しているほか、お盆休暇や新型コロナウイルスの感染拡大による誘導品工場の操業率の低下などで需要が弱まっているようだ。

w

◎PVCおよびPVC原料

塩化ビニル樹脂（PVC）の中国着相場は880～890ドルと前日から変わらず。中国では、PVCの需要がこれまで新型コロナウイルス対策のため行動制限などが実施された影響により弱まった後、依然として回復する気配がみられない。このほか弱材料として、米国品のアジア向けの売り気が引き続きみられている。ただ、生産コストを踏まえると、PVC相場が先行き一段安となる可能性は低いとの見方も聞かれる。

◎マーケットニュース

○中国=福建永旭石化がルーマスのPDH、PP技術を採用

米国のルーマステクノロジー(ルーマス)は23日、福建永旭石化(Fujian Eversun New Material)がプロピレン年産90万トンのプロパン脱水素（PDH）設備の建設計画のためルーマスが保有する「CATOFIN」技術を採用したと発表した。同時に年産80万トンのポリプロピレン(PP)設備のため「Novolen technology」を採用したことも明らかにしている。

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

◎お知らせ
○バイオマスレポート英語版発刊のお知らせ

リム情報開発は6月2日、バイオマスレポート(週刊)の英語版を発刊いたしました。日本や韓国など北東アジアでも発電燃料として需要が高まっている木質ペレットやPKSといったバイオマス燃料に関する情報を、海外のご購読者にもお届けいたします。

-木質ペレットとPKSの東南アジア積み価格とマーケットコメント
-木質ペレットの北米積み価格とマーケットコメント
-木質ペレットとPKSの日本着価格とマーケットコメント
-木質ペレットとPKSのフレートとマーケットコメント
-日本や韓国の需要家による買付け入札情報

内容のお問い合わせ、購読のお申込みは、リム情報開発バイオマスチームへ
https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/biomassEnglishJp/
Tel: 03-3552-2411
Email: info@rim-intelligence.co.jp

◇

※リムレポートの転送は著作権により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、違約金が発生することがあります。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報を用いて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。

事業所一覧

[東京本社] Tel:03-3552-2411, Fax:03-3552-2415
e-mail:info@rim-intelligence.co.jp
[シンガポール支局] Tel:(65)-6345-9894, Fax (65)-6345-9894,
e-mail:hagimoto@rim-intelligence.co.jp
[北京支社] Tel:(86)10-6498-0455, Fax:(86)10-6428-1725
e-mail: ma@rim-intelligence.co.jp huo@rim-intelligence.co.jp
[上海支社] Tel:(86)-21-5111-3575, e-mail:rim_sh@rim-intelligence.co.jp

(C) 2022 RIM INTELLIGENCE CO.

お申し込み ＞　　試読 ＞

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。